

情報基礎シリーズ6

『ネットワークとセキュリティ』

正誤・補足情報

本書において編集上の誤りがありましたので、お詫びして下記のとおり訂正させていただきます。

対象版刷【第1刷】

該当箇所		誤（赤字）or 変更前	正（青字）or 変更後
p.100	15～16 行目	データから作り出されたハッシュ値がある時、ハッシュ値から元のデータを割り出すことができるハッシュ関数は 双方向ハッシュ関数 、ハッシュ値から元のデータを割り出すことができないハッシュ関数は 一方向ハッシュ関数 と呼ばれる。認証にはこの一方向ハッシュ関数が使用される。	データから作り出されたハッシュ値がある時、ハッシュ値から元のデータを割り出すことができないハッシュ関数は 一方向ハッシュ関数 と呼ばれる。認証にはこの一方向ハッシュ関数が使用される。
p.133	2～3 行目	ボット作成者の指示に従うワームを ボツネット と呼ぶ。	ボット作成者の指示に従うワームを ボットネット と呼ぶ。
p.142	索引 左列 14 行目	双方向ハッシュ関数 ……100	(左記を削除)
p.143	索引 右列 1 行目	ボット………133	ボット………133 ボットネット ………133 (←追加)

(2020.04.09/7422-1s-1)

以 上